

平成 22 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 富士電機ホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 伊藤 晴夫
 (コード番号 6504 東証・大証・名証第 1 部・福証)
 問合せ先 経営企画担当ゼネラルマネージャー
 大澤 一裕
 (TEL 03-5435-7213)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

① 連結業績予想

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 690,000 | △12,000 | △17,000 | △17,000 | △23 円 79 銭 |
| 今回発表予想 (B) | 690,000 | 0 | △3,000 | △9,000 | △12 円 59 銭 |
| 増減額 (B - A) | 0 | 12,000 | 14,000 | 8,000 | 11 円 20 銭 |
| 増減率 (%) | 0.0% | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期) | 766,637 | △18,855 | △20,769 | △73,306 | △102 円 57 銭 |

② 連結部門別売上高・営業利益予想

(単位：億円)

| | 売 上 高 | | | 営 業 利 益 | | |
|-------------|-------|-------|------|---------|------|-----|
| | 前回発表 | 今回発表 | 増 減 | 前回発表 | 今回発表 | 増 減 |
| 電 機 シ ス テ ム | 4,400 | 4,410 | 10 | 90 | 140 | 50 |
| 電 子 デ バ イ ス | 1,180 | 1,290 | 110 | △195 | △120 | 75 |
| リテイルシステム | 1,290 | 1,190 | △100 | 10 | △10 | △20 |
| そ の 他 | 430 | 400 | △30 | 15 | 20 | 5 |
| 消 去 又 は 全 社 | △400 | △390 | 10 | △40 | △30 | 10 |
| 合 計 | 6,900 | 6,900 | 0 | △120 | 0 | 120 |

2. 業績予想修正の理由

当社グループは、平成 22 年 3 月期を「構造改革仕上げの年」と位置付け、損益分岐点の引き下げ、総経費の徹底圧縮に加え、営業の構造改革など最適な事業推進体制への変革やサプライチェーン改革にも積極的に取り組んでおります。これらの取り組みにより着実に収益体質の強化が図られ、当第 3 四半期連結累計期間において想定以上の成果をあげることができました。

第 4 四半期会計期間は、国内市場は依然厳しい状況が予想されますが、中国、アジア市場を中心として景気を持ち直しがあり、一部の事業分野においては回復傾向で推移するものと思われま。

このような状況のなか、通期の売上高は前回発表値並みとなる見通しですが、営業損益は電子デバイス

部門の市況回復影響に加え、総経費の徹底圧縮などの構造改革効果により前回発表値を大幅に上回る見通しです。

電機システム部門は、厳しい事業環境のなか、売上高は前回発表値を若干上回る見通しです。営業損益はコンポーネント事業の体質強化に向けて、海外生産シフト、在庫およびコストの徹底削減を引き続き押し進め、前回発表値を上回る見通しです。

電子デバイス部門は、中国、アジア市場を中心にすべての分野で景気回復傾向にあり、売上高、営業損益ともに前回発表値を大幅に上回る見通しです。

リテイルシステム部門は、国内流通市場の長期低迷化により売上高、営業損益ともに前回発表値を大幅に下回る見通しであり、更なる販管費の削減や原価低減に全力をあげて取り組んでまいります。

【注記事項】

本資料における予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

以 上